

# 和み

なご

第2号 2006.10

発行:滋賀県立リハビリテーションセンター  
〒524-8524 守山市守山5丁目4-30

(成人病センター内)

TEL:077-582-8157 FAX:077-582-5726

HP:<http://www.pref.shiga.jp/e/rehabili/>

## 「車いすレクダンス」の様子



## リハビリテーション合同交流会

9月30日、秋晴れのすばらしい天気のもと草津市笠山にある県立障害者福祉センターにて、第7回湖南地域リハビリテーション合同交流会が開催されました。

地域でリハビリテーションに励んでおられる方々や、そのご家族はもちろん、ご家族を支援されている従事者の方々など150名が一同に集まりました。当事者の皆さんを中心に、作品展示、オリジナル体操の披露やグランドゴルフ、囲碁・将棋、車いすスラローム、三味線体験、「わが街のリハビリを腹を割って話す会」などが催され、様々な交流や情報交換の場となりました。“参加者みんなが主役”そんな時間を過ごせたように思います。

この他にも、この日のお手伝いをしてくださった数多くの学生ボランティアさんの参加や、ボランティアグループのハンドベル演奏、小学生グループのオカリナ演奏や大学サークルの沖縄三味線演奏など、老若男女を問わず多彩な余興が披露されました。

最後は参加者全員で輪となって車いすレクダンスを踊り、会場はお祭り騒ぎのうちにお開きとなりました。

(作業療法士：宮本)

## リハビリテーションセンター公開講座 湖西圏域コース

### 「今が幸せ～人とのつながりを楽しむ～」

#### 県民参画事業湖西圏域コース



9月2日土曜日、高島地域地場産業振興センターで開催された公開講座に参加しました。

「今幸せですか？この病気になったことを感謝している。たくさんの人と出会う機会をあたえてくれた。」と生き生きと話される、高島市在住の柿渋染め作家 山本玄匠さんは4年前に脳梗塞を発症され、現在も左半身に麻痺がありますが、今も毎日染め物工房で柿渋を様々な色合いに変化させています。玄匠さんが作り出す柿渋の風合いはファッション業界では一目おかれ、パリコレや雑誌にも作品が掲載されているほどです。

講演では人とのつながりを楽しみ、支え合ってきたとご自身の経験を通じて感じてこられたことを、涙あり笑いありにて話していただきました。これが地域リハビリテーションの理念だと感じるお話でした。

講演の最後には玄匠さんの作品を湖西地域で活動されている看護師・理学療法士・作業療法士等の方々にモデルになっていただき、ファッションショーがありました。普段、白衣に身を包んでおられる皆さんも、衣装に着替え、舞台上でウォーキングやポージングされている姿はすっかりモデル（気分）で、とても華やかでした。

参加者はみんな笑顔で、玄匠さんからたくさんの元気をもらった講演会でした。

(理学療法士：梅居)



草津市野村にある「滋賀障害者職業センター」は、玄関を入ると、季節の植物が飾られており、あたたかい雰囲気センターです。

ここは昭和55年に開設され、滋賀県下8カ所あるハローワークと連携し、様々な障がいのある方々の就労支援を積極的に進めています。

平成17年度は新規に約230名もの相談に応じており、「職業相談や職業評価（職業リハ計画を策定）」にて個別に対応されていました。また労働習慣づくりとして職場マナーやコミュニケーションの習得を目的に最長12週間の模擬就労通所もあり、訪問した当日もみなさんが作業体験に取り組まれました。

近年では、働く本人と受け入れる企業双方への支援を視野に入れて「ジョブコーチ支援（受け入れ職場への職場適応援助者を派遣）」や、「リワーク支援（職場復帰支援）」も多く求められており、今後取り組みを一層進められていくそうです。



訓練室風景

(理学療法士：林)



## リハビリテーション病棟の取り組み

滋賀県立成人病センターの西7病棟にリハビリテーション病棟があります。当病等では、患者さんが住み慣れた自宅や地域に帰り、残された機能を最大限に生かして生活が送れることを目標にしています。医師、看護師、理学・作業・言語聴覚、臨床心理士など、患者さんに関わる全スタッフがチームアプローチを行い、一丸となり目標に向かって取り組んでいます。入院中の生活が、退院後の生活につながるよう地域連携カンファレンスや家屋訪問などを行っています。（看護師：丸毛）

### お知らせ

#### 『滋賀県連携リハビリテーション学会』が設立されました！

この学会は19団体で構成されており、学会長には（社）滋賀県医師会長 浅野定弘氏が就任されました。平成19年3月4日に開催する第一回研究大会開催に向け、企画・検討を行っています。企画や内容などは随時、当センターホームページで報告します！

### リハセンターの事業案内 & 滋賀県内のリハビリに関する行事案内

日時・場所	タイトル・内容
H18 11月25日（日） アル・マーレ(旧大津玉姫殿) 13:30～16:30	リハビリテーションセンター公開講座 大津圏域コース 「高齢者が生き生きと活動するための地域づくり・まちづくりとは」 長崎大学医学部保健学科 松坂誠應 先生
H18 12月3日（日） 14:00～16:30 県立文化産業交流会館 小劇場	リハビリテーションセンター公開講座 湖北圏域コース 「生きるエネルギーを再生産する～デイサービスの実践～」 夢のみずうみ村代表 藤原 茂 先生 (作業療法士)
H18 12月7日（木） 14:00～16:00 守山市民ホール 中央公民館集会室	リハビリテーションセンター公開講座 まちづくりコース 「だれもが安心して暮らせるまちづくり」 ゴジカラ村村長 愛知たいようの杜理事長 吉田一平 氏
(各コース異なります) 申し込み受付中！	リハビリテーションセンター教育研修事業 「医師」「看護師」「セラピスト」「介護職」「チームアプローチ」「調整者」コース。

<http://www.pref.shiga.jp/e/rehabili/>  
事業や企画など最新情報が掲載されています！

#### 編集後記

創刊号を発行してから早2ヶ月。リハビリテーションセンターの事業も動き出しました。創刊号から少し内容は変わっていると思えます。これからも積極的に滋賀県のいろんな情報を掲載していきたいと思っています。何かイベントがありましたら、ご一報ください！

(理学療法士：大塚)



古紙配合率100%再生紙を使用しています

**福祉用具？いやいや**  
**僕はユニバーサルデザインなんだよ♪**

**ユニバーサルデザインとは？**  
年齢、性別、障害の有無などにかかわらず、すべての人が利用可能なように、常に良いものに改良していこうという考え方です。

**名前** 片手なべ 片手フライパン

**チャームポイント** 手首をひねらずに自然な角度で握ることが出来るグリップは、片手でバランスよく持つことができるため疲労しにくいです。座った姿勢でも持ちやすいので車椅子の方や立ち仕事がつらい高齢の方にも便利です。蓋を鍋のふちにたてかけることもでき、安全に、スムーズに開け閉めが行えます。

**どこにいる？** リハビリテーション室内の日常生活の練習をする部屋にいます。

(作業療法士：櫻井・佐野)